

まちなか自動移動サービス事業構想コンソーシアムの概要

まちなか自動移動サービスの事業構想を策定することを目的として日本総研が設立した、産官学民によるコンソーシアムです(活動予定期間：2018年8月29日～2019年3月31日)。

■コンソーシアムの活動内容

まちなか自動移動サービスは、ラスト&ファーストマイルにおける、きめ細かな移動手段を提供することを通じて、既存の公共交通と共に、利便性の高い新しい交通ネットワークを実現することを目指しています。本コンソーシアムでは、神戸市の郊外ニュータウンを対象に、自治会、自治体を含む産官学民が連携して、まちなか自動移動サービスの社会実装に必要な車両のほか、システムの仕様や事業仮説について検討します。

まちなか自動移動サービスは、現時点では、以下のようなサービスになることを想定しています。

【サービス内容】

- ・運行方法：住宅地内の予め決められたルート(片道2km程度以内の短距離)を時速30km以下で走行する、いわゆるラスト&ファーストマイルの乗合サービス。
- ・乗降方法：オンデマンド型(呼び出し制)。利用者は、予め決められた乗降ポイントの中から乗車と降車の場所をスマホアプリ等を通じて指定し、迎車を依頼

【安全対策】

- ・車内外の状況や車両の状況等を管制センターで遠隔監視
- ・見通しの悪い交差点では道路側にセンサー等を設置して安全を確認

【その他】

- ・市販車両に自動運転システムを後付けで組み込むことにより、導入・維持費用を低減
- ・移動サービスの運営を通じて取得されるデータを活用し、店舗への販促支援や情報配信等、移動に関連した付加価値を提供

【イメージ図】



■コンソーシアムメンバー

主催:

株式会社日本総合研究所

一般会員:

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社 NTT データ、沖電気工業株式会社、関西電力株式会社、ダイハツ工業株式会社、株式会社電通、丸紅株式会社 ほか

オブザーバー:

一般財団法人日本自動車研究所

協力会員:

群馬大学、神戸市、神戸市北区筑紫が丘自治会、大和自動車交通株式会社、みなと観光バス株式会社

(五十音順)

まちなか自動移動サービス事業構想コンソーシアム設立について(2018年8月29日)

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=33228>